

コンクリートの乾燥収縮試験

近年、コンクリートの乾燥収縮ひずみの問題がクローズアップされてきております。コンクリート標準示方書やJASS5でも規定化され、生産者側においてコンクリートの乾燥収縮率を把握することが求められております。

当試験所では、申込者に作成いただいたコンクリート供試体（100×100×400mmの角柱供試体）を温度20±2℃、湿度60±5%の環境下で26週間保管し、コンクリートの長さ変化を1週、2週、4週、8週、13週、26週に測定・記録し、乾燥収縮率を測定します。

I.長さ変化測定方法

JIS A 1129-3 「モルタル及びコンクリートの長さ変化測定方法－第3部：ダイヤルゲージ方法」

II.試験の流れ



III.判定基準

「計画供用期間の級が長期および超長期のコンクリートでは、使用するコンクリートの乾燥収縮率は 800×10^{-6} 以下とし、この値を超える場合は、工事監理者の承認を受ける。」

使用するコンクリートの級	目標とするコンクリートの乾燥収縮率
標準	$650 \sim 800 \times 10^{-6}$
高級	$500 \sim 650 \times 10^{-6}$
特級	500×10^{-6} 以下

建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事（解説）

3節コンクリートの種類および品質 3.8 ヤング係数・乾燥収縮率および許容ひび割れ幅より抜粋

（参考）JCIが発行する「コンクリートの収縮問題検討委員会報告書」には1年に1回程度の試験データによって乾燥収縮率を確認することが推奨されています。

お問い合わせ先 <https://www.jqa.jp>

一般財団法人 日本品質保証機構

名古屋マテリアルテクノ試験所 〒481-0043 愛知県北名古屋市沖村沖浦39 TEL 0568-24-2204 / FAX 0568-24-1630 E-mail chubu-cstm@jqa.jp